

## 糸井 マキ(ヴァイオリン)

東京生まれ。6歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科及び桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマコースを卒業。ドイツ国立デトモルト音楽大学、イタリアのロマーノ・ロマーニニ音楽財団で学んだ後オーストリアへ移住、ウィーン国立音楽大学ヴァイオリン科修士課程を満場一致の首席で卒業。音楽学に於いてウィーン国立音楽大学博士課程の全単位取得後退学。現在東京とウィーンの両方に拠点を持つ。[コンクール受賞歴]1991年第1回現代音楽演奏コンクール“競楽1”優秀賞第2位及び日本コロムビア音楽賞第2位 1997年バルトーク国際ヴァイオリンコンクール優勝(オーストリア) フォームル国際ヴァイオリンコンクール第3位(クロアチア) 1998年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第6位(イタリア) 1999年トリエステ国際室内楽コンクール第3位(イタリア) 2000年ヴィットリオ・グイ国際室内楽コンクール入選(イタリア) 2000年フォーバルスカラシップ・ストラディヴァリウス・コンクール第2位 2001年プレーシャ国際ヴァイオリンコンクール第2位(イタリア) 2002年ヴァルセージア国際音楽コンクールヴァイオリン協奏曲部門第2位(イタリア) 2002年リピツァ国際ヴァイオリンコンクール第2位(イタリア) [CD]ヴァイオリン・ソロCD「YUKI MORIMOTO VIOLIN WORKS」(2005年オーストリア Die Extraplatte社より発売) [放送出演]NHK、TBS、ORF(オーストリア)、RAI(イタリア)、ポーランド国営放送、ハンガリー国営放送、ラジオ・モスクワ等 [審査員]2012年第31回ロドルフォ・リピツァ賞国際ヴァイオリンコンクール審査員に選任される。2017年第36回ロドルフォ・リピツァ賞国際ヴァイオリンコンクール審査員に再任される。

## 塩高 和之(琵琶・作曲家)

文化としての琵琶楽を標榜し、伝統的な雅楽古典曲から薩摩琵琶の現代曲まで幅広く琵琶楽を捉え、作曲・演奏の両面に於いて国内外で活動をしている。2007年に、様々な琵琶楽を「文化」という視点で紹介する琵琶楽人倶楽部を設立。80回以上に渡るレクチャーコンサートを行っている。これまで、長唄の人間国宝 寶山左衛門師、能シテ方 津村禮次郎師をはじめ、数多くのアーティストと共演を重ね、高野山、厳島神社、赤間神宮等、琵琶に縁の深い地にて演奏会を開く。薩摩琵琶による演奏のほか、樂琵琶と横笛によるデュオ Reflections としてもオリジナル楽曲による演奏会を行っている。現在、樂琵琶・薩摩琵琶ともにリーダーアルバムを発表し、演奏活動を続けている唯一の琵琶奏者である。海外では、シルクロードの国々へのコンサートツアー(トルクメニスタン・ウズベキスタン・アゼルバイジャン・グルジア)の他、ストックホルム大学、ロンドンシティー大学に招かれ演奏会を開いている。国内では東京外国語大学、明治大学、甲南女子大学他で、琵琶楽を軸にした日本文化の変遷などについて公開講座を担当している。現在までに7枚のリーダーアルバム(CD)と1枚の教則DVDを発表。FEIレコードを通じ、世界にネット配信されている。琵琶楽人倶楽部、及び日本橋富沢町樂琵琶会代表会主。静岡県出身。

## 吉岡龍之介(尺八)

1980年東京生まれ。幼い頃より父、吉岡龍見に尺八の手ほどきを受ける。東京藝術大学卒業後、NHKにて開講されていた邦楽技能者育成会に参加。さらなる音楽技術の向上に邁進する。古典本曲を得意とし、精神性の深い楽曲を好んで演奏する。最近是他ジャンルとのコラボレーション演奏にも力を入れている。国内海外問わず、演奏会や記念行事などに多数参加し、好評を得ている。吉岡邦楽社所属、流山市邦楽三曲会会員、ファミ箏メンバー、和楽器ユニット朧月メンバー。

### [アクセス]

成美教育文化会館：〒203-0014 東久留米市東本町 8-14 TEL:042-471-6600 FAX:042-473-4590

西武池袋線 東久留米駅北口より所沢方面へ徒歩4分

地下駐車場は、利用者の方のみ使えます。台数に制限がありますので、ご了承ください。

